

令和2年度 第1回日本脊椎脊髄病学会 安全医療推進委員会 議事録

2020.06.17(水) 19:00-20:00

場所：オンライン会議(会議主催地：名古屋大学医学部附属病院 会議室)

出席委員： 高相(担当理事) 今釜(委員長) 大谷 奥田 金村 須田
中西(書記) 西田 宮腰 村上 大和 湯川(敬称略)

欠席委員： 相澤 小西(敬称略)

新委員の紹介後、下記議事につき検討を行った。

議事

1. 報告事項

日本脊椎脊髄病学会理事会

・2020年理事会では JSSR 統合型データベース(DB)構築とともに、当委員会
で合併症の調査について進めていく方針。

2. 検討・確認事項

(ア)今後の合併症調査の進め方(JSSR 統合型 DB にて)

- ・金村徳相 DB 委員会委員長より JSSR 統合型 DB 構築の内容とロードマップに
ついて説明いただき、JOANR の2階部分になる JSSR 統合型 DB 構築とともに
3階部分のDBとなる JSSR 委員会 project を推進する。
- ・DB 構築のためのベンダーについても協議した。
- ・合併症調査は、複数年かかる DB 完成を待たずに、1~2か月ぐらいで区切っ
て調査する。
- ・合併症調査項目は当委員会で検討した excel ファイルを提出済み。DB の調査
項目を刷り合わせ決定する。
- ・回収率100%を目指して出来るだけ簡便な回答方式で行う。合併症調査登録を
学会員の責務として行っていただく方向。

(イ)脊椎脊髄手術に関する安全情報の発信(JSSR HP, 広報委員会)

- ・JSSR 広報委員会と連携し、JSR 掲載論文(頸椎前方手術合併症)が JSSR HP
掲載している
- ・今後もこのような研究・論文を HP に掲載し安全医療を進める
- ・掲載にあたっては当委員会で著作権も含め検討する(著作権の問題は理事会で
も確認いただく予定)

(ウ)当委員会サポートについて

・脊椎手術におけるレベルエラーを防ぐための研究について

・富山大学 川口善治先生よりご提案のあった「レベルエラーを防ぐための研究」は 4 月の本委員会で川口先生に出席いただき検討予定であった。コロナ禍の状況を鑑み、次々回の本委員会で川口先生にご参加いただき検討する予定。

・このレベルエラーの研究は、統合型 DB と別の研究として、進める方向。

・放射線被爆の研究について

・京都医療科学大学の 大野先生より整形外科の手技における放射線被ばくの調査アンケートが JSSR 理事会で承認された。

・当委員会は、アンケート項目など提案しサポートする予定。

(エ)その他

・最高裁まで上がってくる医療事故の裁判事例について

これまでは東京医科歯科大学 大川淳先生が担当されていたが、今後は当委員会の委員で担当する予定。

3 . 次回委員会開催日

毎月一回、DB 委員会の進捗と合わせ、随時予定